

## 2015年度は「15中期計画」の最終年度、 目標達成への「発現の年」です



当社グループの2014年度は、相次いだ事業環境の変化の中で、「国内インフラ市場の成熟・縮小への対応」と「エレクトロニクス事業の復興」という2つの大きな課題にグループ総力で取り組み、大きな成果に結実した一年となりました。

まず、「国内インフラ市場」に対する取り組みでは、成熟した国内市場の縮小の流れは止まらず、収益の改善に向けた製造拠点の統廃合、最大の拠点である佐倉事業所の再整備・活用、営業・物流の改革など、事業の選択と集中を進めました。また、「エレクトロニクス事業の復興」では、2011年にタイで洪水被災した製造拠点の復興により、2014年度にはお客様からの信頼もグローバルに回復することができました。これらの積極的な取り組みによって、2014年度の当社グループの売上高は、前年度に比べて11.9%増加の6,615億円、営業利益は同23.2%増加の250億円、当期純利益は同266.5%増加の122億円となり、収益面でも社会的な責任を果たせる企業グループとなってきました。

2015年度は、「15中期計画」の最終年度で、目標達成に向けてこれまで実施してきた諸施策の効果を発現させる年です。そのために、①インフラ事業のグローバル展開の加速②エレクトロニクス事業の収益力の更なる向上③自動車電装事業のビジネス拡大と収益力の向上の3つの重点施策に取り組み、併せて新規事業の立ち上げを加速して進めてまいります。

私たちフジクラグループのCSRは、グループの経営理念MVCVを基軸に、「人にやさしい、地球環境にやさしい」企業活動を通じて、「サステナビリティ社会の実現」と「私たちグループの継続的な発展の両方を実現させていく

ことが、企業としての社会的責任(CSR)であると考えています。

このようなCSR理念の実現に向けて、私たちは、2015年度を最終年度とする25項目の「フジクラグループCSR重点方策(重点課題)」への取り組みを積極的に進めています。それらの取り組みの中から幾つかをご紹介します。

先ず一つ目ですが、「CSR統合報告書」の内容充実を進めました。昨年度、私たちは国際統合報告フレームワークに基づくCSR統合報告書に取り組みました。2年目となる今年度は、株主・投資家の皆様からのご要望により一層お応えすることが出来る様に、更なる充実に向けた取り組みを進めました。二つ目は、2013年度に策定したグループ生物多様性長期ビジョン『ロードマップ2030』の具体的な取り組みについてです。専門家のアドバイスを頂きながら活動をスタートしました。三つ目は、環境パフォーマンスデータの保証についてです。独立した第三者による検証・保証を取得しました。これにより、当報告書の信頼性の向上が図られました。

私たちフジクラグループは、社員一人ひとりが高い目標と強い意志を持ち、社会に対する責任ある取り組みを進めて、「お客様に感謝され、社会からは高く評価される企業グループ」を目指し、これからも積極的な取り組みを進めてまいります。皆様には、当社グループへのより一層のご理解と今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社フジクラ 取締役社長 長 浩 洋 一

当社は、2013年7月のCSR委員会(経営会議)の決定を経て、国連が提唱する「人権」、「労働」、「環境」、「腐敗防止」に関する普遍的な国際原則である「国連グローバル・コンパクト(UNGC)」への支持を表明し、同年9月3日に支持する旨の署名を行い国際的な枠組み作りの活動に参加しました。



## 事業活動の概要

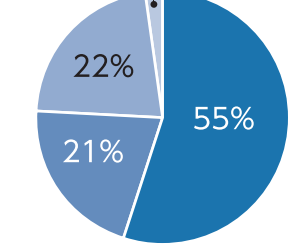
### 「社会」と「産業」と「私たち」とのつながり

当社グループは、さまざまな社会インフラ、さまざまな産業機器、そして数多くの電子・電機機器にお客様の視点に立った安全・安心・最先端製品をグローバルに生産し、世界中のお客様にご提供しています。

### 2014年度 連結

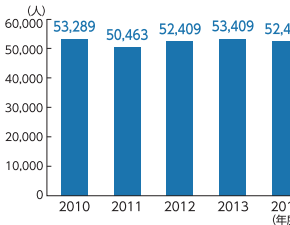
【財務情報(連結)】 (億円)	
売上高	6,615
営業利益	250
営業利益率	3.8%
経常利益	210
当期純利益	122

### 【セグメント別売上高(連結)】



- エネルギー・情報通信カンパニー 3,662億円
- エレクトロニクスカンパニー 1,361億円
- 自動車電装カンパニー 1,435億円
- 不動産カンパニー他 154億円

### 【従業員数の推移(連結)】



### 「社会」の期待に迅速に 応えるフジクラグループの 4つの社内カンパニー

- ① エネルギー・情報通信カンパニー
- ② エレクトロニクスカンパニー
- ③ 自動車電装カンパニー
- ④ 不動産カンパニー

### エネルギー・情報通信事業

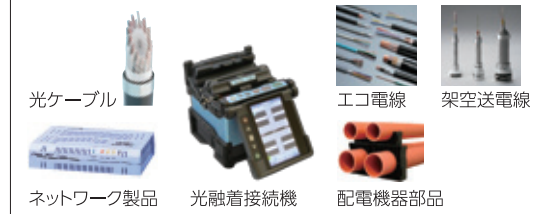
より早く、高品質で大容量の「つなぐ」を求めて、ネットワークはNGN(次世代基盤ネットワーク)へと進化。それを支える光ファイバで当社グループは常に世界トップレベル。その光ファイバを極低損失で接続する光融着接続機では、「世界No.1」。私たちは、光のトータルソリューションをご提供しています。

社会の基盤を支える電力エネルギーの安定供給に貢献することは、創業以来の私たちの原点です。電力会社向け電力ケーブル・架空送電線から汎用低圧ケーブル・産業用ケーブルまで、電力インフラに必要な不可欠な製品をグローバルにお届けする当社グループは、世界のトップランナーとして高い評価をいただいています。

#### 【産業分野】

- 高度情報通信ネットワーク
- 次世代基盤ネットワーク(NGN)
- ファイバ・ツー・ザ・ホーム(FTTH)
- LAN、通信機器など
- ビル・工場の電力・制御
- 発電所～家庭までの送電線ネット
- 産業機器・エレベータ
- 船舶・鉄道・道路 など

売上高：3,662億円



### 自動車電装事業

グローバルに発展を続ける自動車産業。電子情報化が進むカーエレクトロニクスの世界で自動車の安全、安心、快適を支えているのは自動車用ワイヤハーネスです。私たちは、自動車用ワイヤハーネス、車内LAN、シートセンサ、環境対応で需要増が見込まれる電気自動車用給電コネクタなど、トータルな配線システムで車の進化を加速させています。当社グループは、グローバルな生産拠点で車の総合配線システムをお客様にご提供し、進化を続けるカーエレクトロニクスの世界を「つなぐ」テクノロジーでリードしています。

#### 【産業分野】

- 自動車
- 電気自動車
- 車内LAN
- 衝突防止装置 など

売上高：1,435億円



### エレクトロニクス事業

小型・高集積化するエレクトロニクス製品にとって、プリント回路や電子ワイヤ、コネクタなどの電子部品は繊細な「神経」にあたります。当社グループは、この分野でも長年蓄積した技術力を発揮し、スマートフォンや、デジタルカメラなどの最先端機器に、小型・軽量化に最適なFPC(フレキシブルプリント配線板)をはじめ、多様な電子部品、モジュールをトータルにご提供するワンストップソリューションを実現しています。また、グローバルに展開する当社グループは、高密度実装を含めたこれらの高難度電子部品を設計からマスタブドクシオンまで多様化するお客様のご要望にお応えし、現在のエレクトロニクスの世界を支えています。

#### 【産業分野】

- 携帯電話
- ノートPC
- デジタルカメラ
- 家電製品
- 医療機器 など

売上高：1,361億円



### 不動産事業、その他の事業

**不動産事業**  
旧深川工場跡地の再開発事業でオフィス・ショッピング・レストランなど、人々が集い憩う街・深川ギャザリアができました。

**新規事業**  
ファイバレーザ、高温超電導線材、光インターコネクタ ション など

**研究開発**  
色素増感太陽電池、次世代光ファイバ、ファイバレーザ、燃料電池 など

#### 【産業分野】

- 電力機器
- 電機機器
- 電子機器 など

売上高：154億円

